

平成 29 年度(2017 年度)第 1 回三者懇談会（吹田市立藤白台保育園）

- 1 開催日時 平成 29 年 4 月 22 日(土) 午後 5 時～午後 6 時 20 分
- 2 開催場所 藤白台保育園 遊戯室
- 3 出席者 藤白台保育園保護者会会長、外部交流（民営化）担当 2 名、その他保護者 20 名
社会福祉法人耕心会（耕心会理事長、吹田くすのきこども園主幹保育教諭、吹田くすのきこども園副施設長（事務長）、吹田くすのきこども園主事）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、藤白台保育園長、藤白台保育園長代理、藤白台保育園保育士）
- 4 議題 1 出席者紹介
2 懇談会の進め方について
3 要望及び考え方に対する質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第 1 回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 本題に入る前に、藤白台保育園の移管先事業者決定の経過を御存知ない方もおられると思いますので、経過を簡単にご説明いたします。

藤白台保育園の移管先事業者を選定するために、昨年 11 月 9 日に選定委員会を設置しました。その後、3 回の委員会を開催し、様々な議論や審査を経て、最終的に社会福祉法人耕心会を選定すると委員会からの答申が得られたため、本市はこの答申を受けて今年の 2 月 14 日に市としての決定を行いました。移管日は平成 31 年 4 月 1 日ですが、この移管に向けて、円滑な引継ぎを行うため、この三者懇談会が本日設置されました。これからは、この三者懇談会において、藤白台保育園の保護者代表の皆様と、社会福祉法人耕心会、吹田市の三者で様々な調整事項について協議を行っていくことになり、本日は皆様に御出席いただいております。

す。

2 出席者紹介

吹田市： では、本日がはじめての開催となりますので、三者懇談会の出席者の皆様について御紹介をいただきます。

(出席者紹介)

吹田市： ありがとうございました。次に、出席者の皆様から一言御挨拶をいただきます。まず、吹田市から御挨拶いたします。

吹田市： 社会福祉法人耕心会の皆様、藤白台保育園保護者会の皆様、本日はお忙しい中、第1回三者懇談会にお集まりいただきありがとうございます。藤白台保育園につきましては、平成25年度に市が民営化の方針を決定した後、昨年に社会福祉法人耕心会を移管先事業者とする市の決定をさせていただきました。今年から認定こども園になりましたが、同じ吹田市内で保育所をずっと運営されてこられた社会福祉法人耕心会さんに引継いでいただくことに大変感謝しております。

藤白台保育園では初めての三者懇談会になります。民営化に向けて丁寧な引継ぎができるようにしっかりと話し合っていきたいと思います。

今年度から、保護者の皆様達がどのような思いで話し合いをされているか聞き、今後の引継ぎに活かしていくように、園の保育士が事務局として参加していますのでよろしくをお願いします。

耕心会： 耕心会は2012年から南吹田で吹田くすのき保育園を運営してきました。その9年くらい前から保育士の養成に携わる大学の教員や現役の保育士、保育士を目指している学生などが集まって研究会を立ち上げており、その研究会が母体となっています。

法人としてはまだ新しい組織ですが、子どもにとって望ましい保育や、保護者の皆様にとって安心してお子様を預けることができる保育所というのはどういったものなのか懸命に学んできたつもりです。

当時の研究会の頃から研鑽を積んできたメンバーが、今のくすのきこども園で中心的な職員として働き続けております。

南吹田で吹田くすのき保育園（現 吹田くすのきこども園）を開園した時には、地域のことでよく分からない部分もありましたが、自治会を中心とした皆様から色々なことを教えていただき、保護者の皆様にも大きなお力添えをいただきながら保育を続けてまいりました。現在は定員いっぱいの約 90 名のお子様をお預かりして、地域の子育て家庭のお役に立てるようにと保育を続けております。

保護者の皆様は、民営化に対して様々なご不安な点があると思います。教育・保育・福祉という分野は公が担っていくべきだという考え方については、私たちも賛同する部分はございます。しかし、社会福祉法人も利用される方の幸せを願い、それを実現するための組織であるという点は、公と共通するところがあると考えております。

耕心会が運営をお引き受けする以上は、藤白台保育園の保護者の皆様や職員の皆様と話し合いを重ね、子ども達が環境の変化に戸惑うことなく、健やかに成長していったほしいと思いますし、保護者の皆様が安心してお子様を預けることができるように努力していきたいと思っております。

保護者の皆様に耕心会を知っていただくために、今くすのきこども園でどのようなことを大切にしているのかについて簡単にお話をさせていただきたいと思っております。くすのきこども園では、特に目玉になるような活動はしていませんが、日々の生活を大切にすること、子ども達が年齢なりに自立に向かっていくこと、指示を受けるのを待つのではなく、自分から良く考える子どもに育ててほしいと常々願っております。そのために、子ども達に今必要なことは何かということ職員が常々話合うということをお願いしております。

去年にこうしたから今年もこうするとか、毎年こうしているから今年もこうするというのではなく、話し合いをしたうえで保育の内容を決定していきます。目の前の子ども達の様子を見ながら、そのクラスの個性に合わせて活動を工夫していくことを念頭に 1 年間日々過ごしております。

くすのきこども園は男性の職員が非常に多いことも特徴です。乳幼児期の頃から母性と父性両方の存在に十分に触れて、多様な経験をするということを大切にしております。

藤白台保育園の保育内容を引継いでいくことについては、今後保護者の皆様や職員の皆様と話し合いを重ねながら進めてまいりたいと思っております。藤白台保育園のお子様達は、藤白台保育園がずっと大切にしてくらされた環境の中ですくすくと育てられると思っており、耕心会に移管後もこの大切にしてくらされたこと

をできるだけ同じように大切にしながら進めてまいりたいと思っております。

今後、皆様に色々なところでお力添えをいただくことになると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

保護者： 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年度から始まる三者懇談会並びに来年度から始まる合同保育を迎え、園に通う子ども達やその保護者達にとって、より良い保育環境となるように進んでいくことを願っております。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

3 懇談会の進め方について

吹田市： 今後の三者懇談会の進め方について、協議していきたいと思ひます。

今後、どのように藤白台保育園を引継いでいくかについては保護者の皆様から様々な御意見や御要望があると思ひますが、内容によっては、その場ですぐにお答へすることが難しい場合もございます。そこで、御意見や御要望について、保護者代表で取りまとめていただき、事前に書面の形で提出をお願いしたいと思ひています。それに対する考え方を三者懇談会の場でお答へしていきながら原則進めたいと考えています。もちろんあくまで原則ですので、事前に御提出いただいたこと以外の御意見等をその場で発言していただいても構いません。

先行して三者懇談会を開催している南保育園では、このような進め方を行っておりますので、同じように進めていきたいと考えております。

今回は、前年度に提出のありました要望書に対して、耕心会から御回答をいただいております。後ほど耕心会からお話いただきたいと思ひます。

今後も同様に、保護者代表の方から事前に書面でいただき、耕心会に御回答の準備をお願いしたいと思ひますが、この点について何か御意見はございますか。

保護者： 保護者から何か意見や要望があったときについては、今の説明でよく分かりました。逆に、耕心会から保護者に意向を確認しなければいけないような案件が出てきた場合にはどうするのでしょうか。

吹田市： 三者懇談会は継続的に開催していきます。今後、耕心会の方から御質問や御意見が出た場合にも、事前に保護者の皆様に見ていただいて御検討いただくという形で開催していきたいと思ひています。

吹田市： 他に御意見がなければ、当面はそのような形で次回以降開催することといたします。

4 要望及び考え方に対する質疑応答

吹田市： いただいている御要望について、耕心会から御回答をお願いいたします。

(社会福祉法人耕心会から回答)

吹田市： ありがとうございました。耕心会から御回答をいただきました。回答をお聞きして、また別の件でも構いませんので御意見や御質問はありますでしょうか。

保護者： 藤白台保育園の現状を確認して、どのようなやり方が一番いいのか協議していきたいとお答えいただきましたが、これは来年度から始まる合同保育等で現状を確認しながらということでしょうか。

また、お布団の件についてお答えいただきましたが、吹田市からも何かコメントがあればいただきたいと思います。

耕心会： 早くに情報をいただけるのであれば、合同保育を待たずに協議を行って回答していきたいと考えています。

吹田市： お布団の件は、南保育園や吹田保育園でも同じように聞かれています。現在この園で使っているお布団は全部置いていきますので、今現在すでに園に在園されている方は使い続けていただいて結構です。

保護者： 本日参加されていない方への資料の配付はどうされるのでしょうか。

また、耕心会で運営することになった場合に、今とどこが違うのかよく分からないので、違いが分かるように保護者に対して周知する方法を考えてほしいです。何か問題があるような場合には、早めに伝えていただいて保護者から質問ができるような環境を作ってほしいと思います。耕心会では出来ないことが色々あるとは思いますが、今の段階でそういったことが分かっているのであれば教えてほしいです。この場でお伝えいただければ問題意識を共有できると思います。

耕心会さんは江坂の方で園をされていて2園目になるとのこと。今の園はあまり大きくないですが、藤白台保育園は大分大きくなります。保護者も多岐にわたってくるので対応できるのかなと思います。また、こちらの園とは関係ないかもしれませんが、今の園で何か問題となっている点があれば教えてください。

吹田市： 本日参加されなかった方については、月曜日に資料を配付させていただきます。また、議事録を出来るだけ早く作成してホームページに掲載し、会長さんに連絡するとともに印刷してお配りします。

耕心会が運営する場合の違いですが、基本的には現在行っている保育を継続してくださいということ募集要領に記載しております。ただ、耕心会が新たな提案をされたり、くすのきこども園で行っていることが藤白台保育園ではできないとか、色々なお話が三者懇談会の中で出てくると思います。例えば、費用負担について、今の取組みに加えてこういったことをしたいので、もう少し費用負担をお願いしたいという話があるかもしれません。三者懇談会の中でそういったことを話し合っていきたいと思っています。

保護者： お役所言葉なのかもしれませんが、基本的にというのが気になるところです。100パーセント近くやっていただき、プラスアルファでさらに別のことをやっていただけると考えていいですか。

吹田市： 行事などもそうですが、色々なやり方があると思います。これから2年間ありますので、すり合わせをしていきながら御理解をいただいてやっていくということです。公立のやり方が絶対だとは思っていません。私立でも先進的に行っていることはたくさんあるので、そういったものを取り入れて変えていくことはあり得ると思います。ただ、皆さんが激変を望まれてはいないことはよく分かっています。この三者懇談会で定期的に話し合いを行って、議事録を残しながら少しずつ積み上げていきたいと思っています。

耕心会： 出来ることと出来ないことについては、これから藤白台保育園の取組みを教えてください。学んでいく中で分かってくると思います。ただ、基本的なスタンスとして、出来ることをしっかり行うのは当然ですし、現状を引継いでいこうという気持ちは職員一同持っております。

運営については、89名の定員が142名になり大きく増えますので御心配されるお気持ちはよく分かります。園児数の増加に伴って職員の数も増やしますし、吹田市が定めている配置基準をしっかりと守っていきます。くすのき保育園は開園当時50名でスタートしましたが、約40名増えて今は89名です。この間、職員の数を増やしたり、職員配置を変えたり、先生方のレベルアップも図りながら、しっかりと園運営ができるように進めてまいりました。そういった経験を活かしていきたいと考えております。

くすのき保育園で課題だったことの一つは行事です。くすのき保育園を開園した当初は、小さいお子さんをお持ちの保護者の方は、お休みの日には出来るだけ家族と一緒に過ごしたいのではないかと考えていましたので、比較的行事を少なくしていました。しかし、自分のお子さんが普段園で過ごしている姿を見たいという御要望がありましたので、それに合わせて行事を増やしていったということがあります。また、音楽的な要素を入れた発表会にしてほしいといったお声もいただき、現在の発表会を行っています。保護者の方とお話をしながら行事のあり方も変えてきたという経過があります。

保護者： くすのきこども園ではおたよりを教室に貼っているとお聞きしました。私はお迎えの時間が遅いので、教室に貼っている場合はあまり見る時間がありません。今は全園児に配付していただいているので。現状を踏まえて考えていただきたいと思います。

また、吹田市にお聞きしますが、現在、北千里保育園などに行っている4園交流についてはそのまま継続していくのでしょうか。

吹田市： 4園交流は継続していただきたいと思っています。

保護者： 私は藤白台保育園に子どもを預けていますが、住んでいるのは青山台です。他園との交流がないと、子どもが小学校に行ったときに友達がいない状態になってしまうかもしれません。そういった意味でも近隣の園とのコミュニケーションを引き続き取っていただきたいと思います。

先行している南保育園の三者懇談会の中ではどのような問題点があがっていますか。職員の方は全員いなくなると思いますが、パート・アルバイトの先生がどれくらい残っていただけるのか気になっています。今年2歳に上がった進級児は、

担任の先生に1人持ち上がっていただきましたが、それでも泣いている子が多かったようです。全員が一気に変わると子ども達は不安になると思いますので、出来る限りパート・アルバイトの先生に残っていただきたいと思います。

吹田市： 南保育園は4月から合同保育に入りました。こばと会から2人の先生に来てもらっています。一緒に保育をしていただいております、子ども達もすっかりなじんできています。まだ1か月弱ですがスムーズにスタートしています。それ以外でも、おたよりや実際に園で使っているものをどのように引継いでいくかという事務的なこともしっかりと話をしてもらっています。見えない部分が多いですが、着々と進んでいます。

三者懇談会では、パート・アルバイトの先生にどれだけ残っていただけるのかという質問が出ています。パート・アルバイトの先生とこばと会の間で2回以上面談をしており、御意見や御要望をお伺いしているところです。残っていただけるように働きかけもしておりますが、最終的なお返事をいただけるのはもう少し先になると思います。耕心会の方にもパート・アルバイトの方と直接お会いして個別に面談していただく機会を設けるつもりです。できるだけ残っていただけるような条件の御提示をしていただきたいと思っています。

保護者： 三者懇談会の進め方についてです。保護者から事前に意見や質問を出して御回答いただくということですが、現状の藤白台保育園の取組みや民営化後の園運営等について吹田市と耕心会で話合っただき、保護者に情報提供をしてほしいです。布おむつの取扱いなど細かいことはたくさんありますが、漠然としているので、今のまま意見や質問を出すのは難しいと思います。大きな方向性を三者懇談会で話合うことも大事だとは思いますが、あらかじめ吹田市と耕心会ですり合わせをして、これについてはどうしますかという感じで提示してもらえれば、有意義な三者懇談会になると思います。

吹田市： 何の提示もなければ、何を相談したらいいかわからないというのはよく分かります。基本的には今の状況をそのまま引継ぐということですが、個々の内容について確認を取れるような方法を考えてみたいと思います。

保護者： 本日いただいた吹田くすのきこども園のしおりを拝見いたしました。気になっ

た点は家庭保育協力日です。私はお盆が休みの仕事ではないので困ります。また、給食についてですが、大阪市の方では、提携している事業者からお弁当を入れたり、週の間などに定期的にお弁当日を設けている保育所があると聞いてます。私立独特のことだとは思いますが、民営化後にどうなるのか気になります。

耕心会： 今は紙おむつの方が多いですけども、布おむつをお預かりして使っていたことがあります。母乳を持ってきたいという方に対しては、冷凍母乳も扱っています。お盆の家庭保育協力日については、現在行っている通りに引継いでいかないと皆様がお困りになることは十分分かっております。くすのきこども園では家庭保育協力日を設けていますが、この園では今まで通りのお休みで運営いたします。

くすのきこども園ではお弁当日を設けておりません。ただ、遠足に行くときだけはお弁当をお願いしております。くすのきこども園では春と秋に3・4・5歳児が遠足に行きます。春は空の弁当箱を持ってきていただいて、給食室で作った中身を入れてあります。秋はお弁当を作っていただいておりますが、御負担をなるべく減らしていきたいと考えております。

給食に関して申し上げますと、現在くすのきこども園では栄養士が3人おり、藤白台保育園にも栄養士を配置できるように準備を進めています。また、藤白台保育園の給食室にスチームコンベクションや食洗機を導入したいと考えております。調理員の負担を減らすことができますし、新しい調理器具を用いることによって現在くすのきこども園で調理している献立を御提案させていただくことができると考えています。

保護者： 先日、姫路市の認定こども園のニュースが出ていました。あのニュースを見ると、園を運営するためにはコストカットをしないと経営的に厳しいのだなというのがよく分かりました。姫路市がどれだけ実態を知っていたのかは分かりませんが、ただ、保育所の数が足りない中、保育所がつぶれたら困ると思ってなかなか行政が動かなかったのではないかと考えています。

そのようなニュースを見て、吹田市は私立保育所の監督をどの程度行っているのか気になっています。この藤白台保育園についても、民営化して5、6年程度は何の問題もないと思います。ただ、少子化は間違いなく進んでいくので、いずれ経営が厳しくなる時代が来ます。その時にどれだけ行政が介入して、保育環境の悪化を阻止できるのでしょうか。

また、大阪市の方では理事長の家族による使い込みがあったと聞いています。そういったことが吹田市でも起こり、園の経営が破たんするような場合には、その園に通っている子ども達を優先的に他の園に振り替えるといった対応は可能なのでしょうか。

吹田市： 社会福祉法人の監督は、本来大阪府が行うことになっています。ただ、現在は府から権限を受けて、吹田市が行っています。現在市が行っている指導監査は府が行っていたときよりもかなり厳しくなっており、今回報道されていた他市のような事例は、吹田市ではまず考えられないと思います。というのは、行政の人間が園に入る回数が違います。園に対する指導監査は市の福祉指導監査室という部署がやっており、そこで少なくとも年1回行います。その時に細かい帳簿類も全部チェックしています。また、それ以外に保育幼稚園室から補助金を出していますので、タイムカードのチェックや、実際に人を配置しているかについても確認しています。さらに、発達に支援が必要なお子さんが在園している場合には、保育士や発達指導員が園を巡回して相談業務を行っています。市は園に相当な回数で関わっていますので、他市のようなケースは考えにくいです。

理事長の使い込みなどがある場合には、監督権限を行使して経営陣を刷新するという手法を取ります。経営陣を退陣させて新しい理事長や理事を配置する。そういった介入をしながら保育を継続させていきます。

保護者： 選定委員会の開催に際して、三者懇談会における保護者会からの要望一覧と保育所移管先募集要項における保護者からの条件を提出しております。今日は後者に対する回答をいただけていません。選定委員会での企画提案のときにお話をされたとは思いますが、今後開催する三者懇談会の場でも、直接保護者に対してお答えいただきたいと思います。

南保育園の状況を聞きますと、保育士の確保に苦労されているとのこと。民営化の際に、保育士の確保ができないことによって、保育の質が低下するのではないかと不安に思っています。南保育園のこばと会さんは色々な方法を考えて保育士を集めていると聞いていますが、耕心会さんはどのように対応されていますか。また、継続して雇用するための働きやすい環境づくりや、離職率を下げるためにどのように努力されているのか、保育士をどのように育てていくつもりなのか教えてください。

耕心会： 今は全国的に保育士が足りないとよく報道されております。しかし、くすのきこども園では非常に手厚い配置が可能となる人数の保育士を雇用することができております。その理由としては、保育士の養成課程の大学に勤めている教員が理事を引き受けてくれていること。また、実習生やこれから保育士を目指す学生達が園に来てくれる機会が多くあり、そこから就職につながったりしています。

藤白台保育園を引継ぐことで、たくさんの保育士が必要になることは分かっておりますので、今年度から来年度に向けて採用計画を立てております。

就職していただいた後も、長く勤めていただきたいと強く思っています。子ども達にとっても、先生が頻繁に変わるのはいけません。そのために、フリーの保育士を手厚く配置し、先生が体調を崩して休むような場合にも対応できるようにしています。また、子ども達と関わる以外での業務、例えば書類作成などの負担を軽減するためICTを導入しています。保育士間での情報共有を楽にしたり、持ち帰りの仕事を少なくするように心がけています。地道な取り組みですが、そういったことを続けていきたいと思っております。

吹田市： 国の動きとして、平成 25 年度から保育士の処遇改善がはじまり、今はかなり向上してきています。今年度も新たな役付職種をつくることで、給与のアップを図ることになっています。また、事業者が保育士のための宿舎を借りた場合に補助金が出る制度もあります。

市の単独事業としては、通常の運営費に 1 割程度を上乗せしてお支払いしていますので、それを利用して 1 人 2 人の保育士をプラスアルファで配置していただくことが可能だと思います。

また、フリーの保育士を 1 人置くための補助金はもともとありましたが、今年度から 2 人目の制度を作りました。これも市の単独事業です。市は私立保育所の方と定期的に懇談を行っており、色々な御意見を伺っております。その中で、保育士の定着を図るためには、保育士の負担軽減を図ることが大事であるとお話があり、2 人目のフリー保育士を配置するための補助金を作りました。

保育士の確保については、今年度から保育士の方が市内の保育所で働いていただく場合には、お子さんがほとんど保育所に入所できるようになっています。保育士のお子さんを預けやすくする代わりに、保育士の方に市内の保育所で働いてもらう。そうすることによって保育の枠が広がっていきます。近隣市とで保育士

の取り合いになっていますので、できるだけいい条件を出して集まっていただくようにしています。

また、ハローワークとタイアップして集団説明会を実施しています。これまでは年1回でしたが、昨年度は年3回行いました。そういった取組みを進めながら保育士の確保と定着を図っていています。

保護者： 他園との交流についてです。今は近隣4園でブロック運動会だけでなく、ドッジボール大会やリレーもしながら交流しています。また、人形劇鑑賞を通じた交流も行っています。民営化することで、そういった交流がなくなるというのはすごく悲しいです。吹田市からも継続していただけるように働きかけてほしいと思っています。

次に、保育士の継続雇用についてです。私立でよく聞くのは離職率が多く、どうしても若い先生が多くなってしまうということです。公立と私立は給与水準が違いますよね。補助金もそれほど多くないので、事業者さんの努力がすごく問われていると思います。

小さな話かもしれませんが、今はクリスマス会で子ども達がサンタさんからプレゼントをいただいています。そのプレゼントの費用についても公立はある程度出してもらっていますが、私立はそうではないと聞いています。1人あたり100円とか200円かもしれませんが、そういったものが積み重なると公立と私立はこんなに違うんだということになってきます。ただ、そういったこと全てを保護者は知らないと思うので、現状の確認を進めてほしいと思います。

先ほど補助金が増えているというお話がありましたが、本当に保育士の毎月の給与に反映されているのでしょうか。現場の声をもっと聞いていただきたいです。私立で働いている保育士さんが子どもを養っていけないから、公立に転職するという話も聞いています。色々なことを不安に思っ先生が苦しむのはいやですし、長く働いてほしいです。そういったことがクリアになってきたらもっと保護者も安心できるかなと思っています。

吹田市： 補助金には色々な種類があります。延長保育を行ったら補助金を出す、発達支援のお子さんを預かって保育士を配置していただいたら補助金を出すなど、園の実情に合わせて考えていただく形になっています。そして、補助金を受けるためにはそれぞれの補助金に対する資料をつけて最終報告をすることになっています。

先ほど申し上げた処遇改善の補助金についても、保育士をはじめとする園の職員給与に反映していないともらえないような仕組みになっています。自由に使える形でお渡ししているわけではありません。実際にかかった経費に対して補助金を出すということです。

耕心会： 吹田市からもありましたが、補助金は何にでも使えるというのではなくて、この補助金は人件費に使わなくてはいけないというような制限がございます。補助金は税金であるということは我々も分かっておりますので、きちんと保育士や預かったお子さんに還元できるようにしますし、報告も行います。誤った使い方をしていたら返還要求をされますので、そういうことがないようにきちんとしております。

職員の離職率については、給与はもちろんですが、就職してから自分が想像していた園だったかというマッチングの面も大きいと思います。その点をしっかりと考えないといけません。また、保育士はとても勉強熱心でスキルアップを求めていますので、それに合わせた研修を組んであげることが大切です。ただ、研修に行くことで保育士が足りなくなるというわけにはいかないなので、そのための体制作りも考えております。さらに、将来どのような生活設計をされているのかお聞きして配慮してあげること。例えば、子どもが生まれた場合に辞めてしまうのではなく、子育てをしながら働いていけるようにしていかなければいけないと考えています。

保育は職員の輪というか、チームワークが大切だと思っています。トップダウンで上の人間が言ったことをするのではなくて、職員同士が話をできるような雰囲気作りが大事です。藤白台保育園の園長予定者は、今くすのきこども園で主任をしていますが、園長就任後は、職員の輪を作って現場の職員の声をしっかりと聞けるような人間関係づくりをすることを一番大きな仕事と考えています。

保護者： フリーの保育士を配置したり、研修に行くことができるような職員体制になっていると聞いてすごく安心しています。現在のくすのきこども園の歳児ごとの保育状況とフリーの保育士について教えてください。

耕心会： お渡ししている資料では、保育教諭が13名となっていますが、今は17名になっております。今年度の保育体制は、0歳児は8名の受け入れで保育士4名。た

だ、慣らし保育中なのでフリーの先生が入ることが多いです。1歳児は15名で保育士4名。2歳児は15名で保育士3名。3歳児は15名なので本来は1名の保育士ですが、2歳から3歳で先生の数急に減ると子ども達の生活面をしっかりと見ることができないので2名の保育士で対応しています。4歳児は18名ですが、発達に心配なお子さんがいらっしゃいますので、1名加配で保育士2名です。5歳児は17名で1名の保育士が持ち上がりで対応しています。

フリーの保育士については、主事の職員も保育士資格を持っているので、朝夕を中心に保育に入っており、合計で3人です。

吹田市： 終了時刻を過ぎておりますので、本日はこれで閉会させていただきます。次回
の開催につきましては、耕心会様と保護者会長様と調整させていただきます。

本日は御参加いただき、ありがとうございました。